

2022 年 4 月 15 日(金) ハコラク 5 月号 掲載

医療の現場から『5×2cm のガラスで診る』

病理診断科 岡崎 光展 副技師長(細胞検査士)

5×2cm のガラスで診る

「病理検査」と聞いてピンときた方！それはご自身が検査を受けられたか、相当医療に詳しい方です。「病理検査」というのはとても目立たない、いわば「縁の下の検査」です。でも、とても重要な検査ですので、今回はその重要性についてご紹介できればと思います。

病理検査と一口に言っても、その中でも「組織診断／細胞診断／病理解剖」という大きく3つの枠組みに分かれています。ざっくりと言えば「身体の中で起きていることを調べる」検査です。主なところは「がん細胞があるかどうか」という検査なのですが、そのほかにも炎症の存在であったり、がんだけではなく身体に異常がないかどうかを検査しています。

その検査方法とは約5×2cmのガラスプレパラートに患者さまの身体の一部(胃や皮膚、尿など)を載せて、特殊な染色をし、顕微鏡を使って詳しく検査します。細胞診検査では1枚のプレパラートに、部位にもよりますが1万個ほどの細胞が載っ

ており、それらをすべて観察します。組織診断では細胞の塊(組織)として観察します。細胞診検査では臨床検査技師の中でも「細胞検査士」という専門資格、組織診検査では医師の中でも「病理専門医」という専門資格を持ったプロが担当しています。



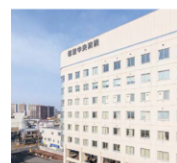
函館中央病院

病理診断科 副技師長(細胞検査士)

岡崎 光展 さん

病理検査は目立ちませんが現代医療の根幹をなす検査であり、今後は遺伝子検査なども含めて、より重要になってくる検査分野です。私たちは今後も安心して患者さまが治療を受けられるよう、正確な診断結果をもって医療に貢献していきます。

す。時には「術中迅速診断」といつて手術中にリアルタイムで検査することもあります。身体などの部分も病理検査の対象になるため、大きな病院であれば病理診断科は設置されておりま



函館中央病院

函館市本町33-2

☎0138-52-1231(代)

<http://www.chubyu.com/>

■診療科目／
糖尿病・内分泌内科、消化器内科
腫瘍内科、循環器内科、小児科
外科、整形外科、形成外科
脳神経外科、心臓血管外科
皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科
歯科口腔外科など、全26科目

■受付時間／
8:30～11:30、13:30～16:00
※土曜は午前のみ。診療科や
時間帯によっては要予約。

■休診日／日曜・祝日・年末年始

